

これまでのアクション・プランの主な成果

分類付与（特許分類付与支援）

- ・外国語の特許文献に対して、日本語に機械翻訳したテキストを入力として、分類情報を推定。推定結果を外国語の特許文献に対して紐付けることで、テーマコード、F I、F タームおよび日本語テキストを用いた外国特許文献検索を可能に。なお、テーマコードについてはJ-PlatPatでも検索に利用可能。

先行技術調査（画像検索技術の特許図面への適用）

- ・審査対象案件の「図面」および「明細書」における図面の記載を元に、関連性の高い図面を有する特許文献を優先的に提示。
- ・審査官の先行技術文献検索を効率化。

先行技術調査（特許文献のランキング表示）

- ・調査対象となる特許文献に含まれる情報（書誌情報、分類、請求項、明細書、引用回数等）を用いて、審査対象案件との類似度に関するスコアを付与し、スコアの高い順に表示。
- ・審査官の先行技術文献検索を効率化。

先行図形商標の調査（商標イメージサーチ）

- ・出願された商標の画像の特徴量と、先行商標の画像の特徴量を用いて類似度を算出し、類似度の高い順に表示。
- ・検索精度向上のため、令和3年度に機械学習コンペティションを実施。上位入賞者の予測モデルは、特許庁のイメージサーチツールに搭載予定。